

公立学校情報機器整備事業に係る各種計画

令和7年3月

寿 都 町

【寿都町】
端末整備・更新計画

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
①児 童 生 徒 数	1 6 6	1 5 3	1 5 0	1 4 2	1 3 9
②予備機を含む 整備上限台数	0	1 7 5	0	0	0
③整 備 台 数 (予備機除く)	0	1 5 3	0	0	0
④ ③のうち基金 事業によるもの	0	1 5 3	0	0	0
⑤累 積 更 新 率	0	1 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0
⑥予備機整備台数	0	2 2	0	0	0
⑦ ⑥のうち基金 事業によるもの	0	2 2	0	0	0
⑧予備機整備率	0	1 4	0	0	0

(端末の整備・更新計画の考え方)

令和 2 年度に整備した町立学校児童生徒用端末について、令和 7 年度に一括更新する。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：1 8 5 台

○処分方法

- ・使用可能な端末は、教育関連事業等での活用やオンライン授業の配信を行う際の補助端末として活用するなど、学校の要望を確認し活用する。
- ・再使用できない端末は、小型家電リサイクル法の認定事業者にて再資源化を委託する。

○端末データの消去方法：処分事業者へ委託する

○スケジュール (予定)

- ・令和 8 年 4 月 新規購入端末の使用開始
- ・令和 8 年 5 月 処分事業者選定、使用済端末のデータ消去
- ・令和 8 年 6 月 使用済端末の再利用

【寿都町】
ネットワーク整備計画

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
十分なネットワーク速度が確保できている学校の割合	100	100	100	100	100
アセスメントの実施有無	無	無	予定	無	無
1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％） ・ 総学校数 : 3 校（小学校 2 校、中学校 1 校） ・ 必要なネットワーク速度が確保できている学校 : 3 校（小学校 2 校、中学校 1 校） ・ 総学校数に占める割合 : 100％ 2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール ・ 令和 6 年度に簡易帯域測定及びユーザ体感調査を行い、課題の有無を確認した。 ・ すべての学校で推奨帯域が確保されていたが、体感調査で意見や要望があったことについては、令和 7 年度中に検証等を行う。 ・ 新たな課題が発生した場合等を鑑み、令和 8 年度にネットワークアセスメントを実施する予定とし、適切なネットワーク環境の整備を図る。 ・ また、既に整備している無線環境設備が、老朽化等により本来の通信速度が確保できていない場合は、定期的に設備の更新を行う。					

【寿都町】
校務D X計画

G I G Aスクール構想にて整備された Microsoft Teams を活用し、教職員が情報を共有することで、クラウドツールの便利さを実感し校務の効率化が進んでいる。

さらなるコミュニケーションの迅速化や活性化、校務の負担軽減を図るため、以下の校務D X計画を推進する予定である。

I C Tを活用して校務の効率化を図ることで、教職員の事務負担等を軽減するとともに、児童生徒と向き合う時間を確保し、教職員の働き方改革を推進します。

1. クラウドツールの活用

教員間で情報伝達をする場合、朝礼や終礼、職員会議などで全員が集まることができず伝達が不十分なことや、紙で回覧する場合には全員に伝達するまでに時間がかかるなど、確実かつタイムリーな伝達が難しいケースがあります。

そこで、教員間の連絡手段の I C T化として Teams のアプリを活用することで、即時に効率よく最新の情報を全員に共有できるようになります。メモの必要、聞き逃しもなくなり、教員間のコミュニケーションの幅が広がります。

学校間や学校と保護者間の連絡等にも Teams を用いるとともに、教育委員会と学校との連絡及び通知は、引き続きメールや Teams を利用して行います。

また、教員と児童生徒間でも Teams を活用し課題や教材等の共有を行うほか、デジタルドリルを活用することで自主学習や弱点克服など、個々の理解度を確認しながら授業を進めることができます。

なお、全ての教職員が各種ツールを効果的に活用できるよう、I C T支援員による集合研修を定期的に行っており、I C T活用能力の向上を図っています。

教職員の端末については、校務用と指導用の一台化を図っており、整備及び端末管理に係るコストの削減にも努めております。

2. F A X ・押印の見直し

F A X 及び押印については原則廃止とすることにより、教職員の負担軽減を図るとともに、ペーパーレス化を進めていきます。

3. 手入力作業の改善

校務業務では多くの手入力作業が存在します。不合理な手入力作業を洗い出し、改善策を通じて教職員の負担軽減を図ります。

【寿都町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築のため個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が示されています。

また、本町では、第8次寿都町総合振興計画の基本目標の1つ、「地域を知り、人を豊かに育むまち」の中で、学校教育の充実に向けた主要施策として「情報化に対応したICT環境の充実」、「情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用した授業の実施」、「情報化社会に適応できる人材の育成」を掲げています。

ICTの活用を高めながら、児童生徒1人1人の実態に応じた学習方法で、自ら学び、表現できる力の育成を目指します。

2. GIGA第1期の総括

国のGIGAスクール構想を踏まえ、令和2年度に1人1台端末及び校内の通信ネットワーク等を整備し、学校現場における教科や学習場面に応じた情報の収集・理解・整理・発信・共有及び個別の学びのツールとして、端末の日常的な利活用を推進しました。

1人1台端末の家庭への持ち帰りを可能とし、長期休業中の課題やデジタルドリルを用いた家庭学習など、様々な場面で活用することにより、児童生徒の学習意欲の向上が図られました。

GIGAスクールの運営支援を業者に委託し、端末の不具合やネットワークトラブルの早期解決を図り、児童生徒の学習環境に支障が生じないように努めるとともに、情報モラルやICT機器の活用に関する教職員研修を実施し、教職員のICT活用指導力の養成を図りました。

3. 1人1台端末の利活用方策

新時代を担う児童生徒を育む取り組みとして、学習活動におけるICT活用機会の創出があります。各種学習ソフトの活用促進として、1つ目は、デジタル教科書のさらなる活用です。デジタル教科書は、学習者が自分のペースで学習を進められ、個に応じた効果的な学習が可能となるため、より実践的な活用を図ります。

2つ目は、学習支援ツールの活用です。学習支援ツールは、1人1台端末と教師の端末及び電子黒板と連携し、教材等の配布のほか画面共有等を行うことにより、個々の児童生徒の書き込みをリアルタイムで共有することが可能です。そのため今後は、課題配布や回収等を行い提出物の一元管理や複数人の同時操作による情報整理や意見交換等グループでの協働学習の実践をより進めていきます。

また、児童生徒の心身の状況把握や教育相談についても端末を活用し、日々の変化を早期に捉え、適切な支援につなげていきます。

次に、新たな授業スタイルの創出として、場所や時間にとらわれない学びの実現のため、欠席時におけるオンラインでの授業配信の実施を検討します。

なお、1人1台端末の利活用にあたり、下記の指標及び目標を達成できるよう取り組みます。

以上の取り組みを実施するためには、1人1台端末が必要不可欠です。そのため端末の整備及び更新により、1人1台端末環境を引き続き維持していきます。

【1人1台端末の利活用指標及び目標】

項 目	評 価 の 指 標	目標値（目標年度）
1人1台端末の積極的活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	100%（R6）
	ICT支援員の配置	現状維持 （委託業者で対応）
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	100%（R6）
	デジタル教科書を実践的に活用している学校の率	100%（R10）
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	100%（R6）
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	100%（R6）
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	100%（R6）
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	66%（R7）
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	66%（R7）
学びの保障	希望する不登校児童生徒への授業配信を実施している学校の率	100%（R8）
	希望する児童生徒への1人1台端末を活用した教育相談を実施している学校の率	100%（R8）
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に1人1台端末を活用している学校の率	100%（R8）
	障がいのある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じてICTを活用した支援を実施している学校の率	100%（R8）